

平成29年度 医学部海外短期留学報告会を開催しました

11月21日、大塚講堂（蔵本キャンパス）にて、「平成29年度医学部海外短期留学報告会」を開催しました。

本報告会は、海外の学術交流協定校へ留学した医学部の学生が研究成果を発表するとともに、海外で自ら体験したことを教員や学生に報告することにより、医学部のグローバル化に寄与し、ひいては本学の国際化を促進させることを目的として、平成23年度から毎年開催しています。

報告会は、赤池雅史副医学部長による英語でのご挨拶で始まり、発表者は、テキサス大学ヒューストン・ヘルスサイエンス・センター（米国）、ハノーバー医科大学（ドイツ）、メトロポリア応用科学大学（フィンランド）、フロリダ・アトランティック大学（米国）、トビタテ！留学 JAPAN（米国）の順で、英語で体験発表を行いました。

留学先での研究の成果に加えて、日本と留学先の国との文化の違い、外から日本を見ることの大切さ、留学で得たことや見つかった課題等について貴重な体験が報告されました。200名を超える学生、教職員の他に、今年は、学術交流協定校のメトロポリア応用科学大学から訪問中の Dr. Anita Näslindh-Ylispangar（臨床看護／救急ケア学科長）と Dr. Leena Rekola（臨床看護／救急ケア科主任講師）、そして、短期留学中の Sini Kivela さんと Taru Rusanen さん（ともに看護学専攻3年）も参加し、例年にも増してグローバルな雰囲気の中で報告会が行われました。

参加者は、発表者の報告に熱心に耳を傾け、各発表後には英語による質疑応答もされました。最後に発表者を囲んで記念撮影を行い、報告会を終了しました。

発表者：テキサス大学：小和田実、杉谷鮎美（医学科4年）

ハノーバー医科大学：藪野淳也、吉原美沙子（医学科5年）

藤元 萌（医科栄養学科3年）

メトロポリア応用科学大学：横田真梨菜（保健学科3年）

フロリダ・アトランティック大学：和田優子、岡田悠里亜（保健学科2年）

トビタテ！留学 JAPAN：寺田万莉奈（保健学科4年）



発表者を囲んで記念撮影



発表の様子